仮タスク

| No. | 対象 | 改修内容 | 想定期間 |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | Wordプラグイン | **Wordスタイル追加への対応**  〔改修内容〕 Word原稿で使用するスタイル（「本文」「箇条書き」「手順」といった要素のこと）として、直近で3種類を追加する予定です。 それらのスタイルも問題なくHTML出力できるよう、Wordプラグインを改修します。 （なお、新スタイルに対応するHTML上でのクラス名の指定、およびCSSの修正はヒューマンサイエンス側で行う想定です） | 2～3週間 |
| 2 | Wordプラグイン | **製品ソフトからHTMLへのジャンプ**  〔改修内容〕 会計ソフト製品の画面（ブラウザベースで表示）内に設けられるボタンから、製品マニュアルのHTML（WebHelp）内の対応する項目説明にジャンプできる仕組みを作成します。 具体的には、Word原稿の任意の箇所にブックマークを挿入し、それをHTML内でのアンカーに変換できるよう、Wordプラグインを改修します。 ※仕様の詳細については別添資料（システム画面から項目説明へのジャンプ\_仕様案(20240806).pdf）を参照 | 1.5～ 2カ月 |
| 3 | Wordプラグイン | **見出し4以下への参照の処理**  〔現状の仕様〕 Word原稿中の①「見出し1」～「見出し3」への参照は、Wordプラグインの「リンク設定」機能を使って「ハイパーリンク」として設定するが、②「見出し4」～「見出し5」への参照は、Wordの相互参照の機能を使って設定するーーことになっています。 そして現状では、Wordプラグインの「HTML出力」機能を一度実行すると、上記②のタイプの参照も①と同じ形式に置き換えられます。 しかしこの仕様では、結合ツールを使ってWord原稿を結合した場合に、②のタイプの参照がリンクとして機能しなくなるという不都合があります。  〔改修内容〕 上記下線部の仕様を改め、「HTML出力」を実行しても、上記②のタイプの参照の形式が「Wordの相互参照」のまま維持されるよう、Wordプラグインを改修します。 | 3～4週間 |
| 4 | 結合ツール | **リンクチェック結果の色分け表示**  〔改修内容〕 現状では、リンクチェック機能で検出されたエラーはすべて赤色背景で表示されますが、これを「リンク切れの場合」「タイトル不一致の場合」などエラーの種類によって色分け表示されるよう改修します。 | 1～2週間 |